

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月20日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンワドー

コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役商品開発担当 兼 管理担当 (氏名) 後藤 昭一

TEL 017-782-3200

四半期報告書提出予定日 平成24年6月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	7,433	2.0	182	△25.0	188	△17.6	101	—
24年2月期第1四半期	7,289	7.6	243	111.3	228	154.6	△60	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 62百万円 (—%) 24年2月期第1四半期 △169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	19.16	—
24年2月期第1四半期	△11.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	18,143	4,662	25.7	883.17
24年2月期	17,502	4,663	26.6	883.26

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 4,662百万円 24年2月期 4,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,700	1.9	410	△16.2	430	△11.1	175	104.6	33.15
通期	32,000	4.0	1,000	15.1	1,000	14.7	400	61.0	75.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	5,280,000 株	24年2月期	5,280,000 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	528 株	24年2月期	528 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	5,279,472 株	24年2月期1Q	5,279,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年2月21日～平成24年5月20日）につきましては、平成24年5月17日内閣府発表の1～3月期の実質GDPが前期比+1.0%（年率+4.1%）と3四半期連続でプラスとなりました。これは内需の好調が要因と思われ、主にエコカー補助金制度による自動車販売の回復や、大震災の復旧復興需要が断続的にあることから、個人消費及び公共投資の回復によるものと思われます。一方で全国的な3～4月の天候不順による気温低下や、昨年の震災特需と液晶テレビ需要の反動減が大きく影響している部分もありますが、相対的に景気は持ち直しの状況にあります。

このような環境の中、当社グループの営業面では、農業資材、肥料・用土、農作業衣料、家庭園芸及び花苗等の季節商品の早期展開を重点的に進めました。同時に新生活用の電化製品、収納用品及び引越し用品等も早期に品揃えしました。3～4月は低温続きと雪解け遅れによって、農作業や園芸用品商材の動きが鈍かったものの、5月に入って活発化しました。一方、経費面では、再リース料の圧縮、包装資材・消耗材等の節減に取り組みましたが、ポイント会員売上、食品部門の人員、冷凍・冷蔵ケースの増設費用、除雪費及び減価償却費等の増加により、販売費及び一般管理費は前年を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,433百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は182百万円（前年同四半期比25.0%減）、経常利益は188百万円（前年同四半期比17.6%減）と増収減益となりました。営業利益及び経常利益の減益要因は、主に食品部門の売上構成比の上昇による粗利率の低下及び販売費及び一般管理費の増加によるものであります。四半期純利益は、101百万円（前年同四半期は60百万円の純損失）となり、増益となりました。増益の要因は、前年、資産除去債務適用の影響額等により170百万円の特別損失を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間においては特別損失が大幅に減少したためであります。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

「リビング」

「リビング」の売上高は2,096百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

カセットコンロ、カセットボンベ及びアルミラップ等の消耗品や大型鍋は、前年同四半期の震災特需の反動により、売上を大きく落としました。一方、ポリ袋、収納ケース及び物干し台等は、震災の影響で商品供給が安定しなかった前年同四半期に比べ、販売数・売上を伸ばしました。また、日用品でも、大人・子供用紙おむつ、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ローソク及びカイロ等も震災特需の反動により、売上を落としました。家電は、液晶テレビの単価下落と販売数の落ち込みにより、売上を大きく落とし続けました。ブランド品は、震災後の自粛ムードにより売上が低迷した前年同四半期に比べ、当四半期は落ち着きを取り戻し、新デザイン商品の投入効果とあいまって、売上を伸ばしました。

この結果、「リビング」のセグメント損失は16百万円（前年同四半期は0百万円の利益）となりました。

「食品」

「食品」の売上高は2,277百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。

前年同四半期の震災特需の反動により、缶飲料、大型ペットボトル飲料、冷凍食品等は売上を大きく落としました。反面、品薄だった米や菓子パン等の入荷が正常化したこと、店舗の一部を改装し、品揃えを充実した冷蔵品と日配品が売上を伸ばしたこと等により、「食品」は売上を大きく伸ばしました。

この結果、「食品」のセグメント利益は48百万円（前年同四半期比20.5%減）となりました。

「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は1,636百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。

「DIY」については、大雪による雪害復旧需要が見られ、住宅の屋根・壁等の修繕に使用する木材、建築資材等の素材及び電動工具等の売上が好調に推移しました。しかし、3～4月の春需要があるエクステリアやペイント類は大雪の影響で逆に売上を落とし、全体的にも売上を落としました。

「グリーン」については、ペット用品は、犬・猫用のスナック等のおやつ類は前年同四半期を上回る売上を示しましたが、主力のフードが犬種の小型化により消費量を減らし、加えて販売競争激化による価格低下が大きく影響し、売上を大きく落としました。園芸用品は、3～4月の大雪と残雪で農作業並びに家庭園芸の動きが遅れ、関連の農業資材、用土・肥料及び花苗は売上を落としました。しかし、特定店舗のみで扱っていた用土・肥料等を全店に拡充し販売したことや、5月に入り気温が上昇、3～4月に不振であったカテゴリーで売上を巻き返したことから、この結果、「グリーン」は売上を伸ばしました。

この結果、「DIY&グリーン」のセグメント利益は68百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は1,029百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

「カー」については、夏タイヤの早期販売を展開しておりましたが、季節遅れの降雪並びに雪解けが遅かったため、新品タイヤ販売数と、冬用から夏用へのタイヤ交換客数が軒並み減少、また、スタッドレスタイヤの通年装着傾向もみられる等、売上構成比の高い夏タイヤの販売が不振で、売上を大きく落としました。

「レジャー」については、この時季、主力カテゴリーである自転車が3～4月の降雪と寒さ、雪解け遅れの影響から需要期が例年より遅れ、売上を落としました。

この結果、「カー&レジャー」のセグメント利益は34百万円（前年同四半期比27.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ640百万円増加し、18,143百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ795百万円増加し、6,144百万円となりました。主に、商品及び製品が季節商品揃えにより404百万円、現金及び預金が327百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ154百万円減少し、11,998百万円となりました。主に、投資有価証券が時価評価により138百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ142百万円増加し、8,925百万円となりました。主に、1年内返済予定の長期借入金が347百万円、未払法人税等が223百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が仕入高増により699百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ498百万円増加し、4,555百万円となりました。主に、社債が340百万円減少しましたが、長期借入金が839百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、4,662百万円となりました。これは、利益剰余金が37百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が38百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年4月5日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	621,947	949,077
受取手形及び売掛金	331,880	460,284
有価証券	41,558	31,562
商品及び製品	4,094,309	4,498,902
繰延税金資産	89,220	84,038
その他	170,744	121,014
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	5,349,652	6,144,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,288,094	2,250,440
土地	5,437,847	5,489,002
その他(純額)	212,428	205,723
有形固定資産合計	7,938,370	7,945,167
無形固定資産		
投資その他の資産	20,819	20,457
投資有価証券	847,100	708,920
敷金及び保証金	2,797,934	2,762,031
繰延税金資産	95,118	109,388
その他	461,502	459,960
貸倒引当金	△7,570	△7,531
投資その他の資産合計	4,194,084	4,032,769
固定資産合計	12,153,274	11,998,393
資産合計	17,502,926	18,143,263
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,947,618	3,647,512
短期借入金	1,930,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	2,048,480	1,701,345
1年内償還予定の社債	760,000	730,000
未払法人税等	312,220	89,158
賞与引当金	35,220	70,935
役員賞与引当金	10,700	3,550
ポイント引当金	74,510	78,122
その他	664,279	654,498
流動負債合計	8,783,028	8,925,122
固定負債		
社債	1,630,000	1,290,000
長期借入金	1,691,900	2,530,965
退職給付引当金	232,534	239,038
役員退職慰労引当金	74,100	74,770
資産除去債務	219,157	219,796
その他	209,085	200,920
固定負債合計	4,056,777	4,555,489
負債合計	12,839,805	13,480,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	3,188,420	3,226,197
自己株式	△261	△261
株主資本合計	4,639,988	4,677,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,131	△15,113
その他の包括利益累計額合計	23,131	△15,113
純資産合計	4,663,120	4,662,651
負債純資産合計	17,502,926	18,143,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)
売上高	7,289,689	7,433,050
売上原価	5,659,580	5,838,948
売上総利益	1,630,108	1,594,101
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	535,278	533,026
広告宣伝費	74,005	79,414
不動産賃借料	233,886	235,559
賞与引当金繰入額	29,350	35,715
役員賞与引当金繰入額	3,650	3,550
ポイント引当金繰入額	68,535	78,122
退職給付費用	6,966	13,807
その他	435,223	432,526
販売費及び一般管理費合計	1,386,897	1,411,721
営業利益	243,211	182,380
営業外収益		
受取利息	2,907	1,555
受取配当金	897	334
不動産賃貸料	6,213	8,948
発注システム使用料	6,680	7,157
保険解約返戻金	10,735	—
その他	14,960	14,350
営業外収益合計	42,395	32,347
営業外費用		
支払利息	29,603	22,350
社債発行費償却	22,676	—
支払保証料	708	1,792
その他	3,766	2,009
営業外費用合計	56,753	26,152
経常利益	228,852	188,574
特別利益		
固定資産売却益	—	6
役員退職慰労引当金戻入額	50	—
貸倒引当金戻入額	579	—
特別利益合計	629	6
特別損失		
固定資産売却損	13	—
固定資産除却損	1,595	284
投資有価証券評価損	14,760	—
災害による損失	31,561	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122,524	—
特別損失合計	170,453	284
税金等調整前四半期純利益	59,028	188,296
法人税、住民税及び事業税	85,843	84,671
法人税等調整額	33,600	2,494
法人税等合計	119,443	87,166
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,415	101,130
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,415	101,130

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△60,415	101,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108,877	△38,245
その他の包括利益合計	△108,877	△38,245
四半期包括利益	△169,293	62,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169,293	62,884
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,212,324	2,116,086	1,616,184	1,075,840	7,020,436	269,252	7,289,689	—	7,289,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	7,053	7,053	2,665	9,718	△9,718	—
計	2,212,324	2,116,086	1,616,184	1,082,894	7,027,490	271,918	7,299,408	△9,718	7,289,689
セグメント利益	487	60,753	60,707	47,715	169,663	2,529	172,192	71,018	243,211

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額71,018千円には、支払利息の調整額29,603千円、社債発行費償却の調整額22,676千円、支払保証料の調整額708千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額14,250千円及び当社グループ間売上に係る調整額3,780千円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,096,041	2,277,858	1,636,904	1,029,993	7,040,796	392,253	7,433,050	—	7,433,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	389	3	104	8,235	8,733	2,821	11,554	△11,554	—
計	2,096,430	2,277,861	1,637,008	1,038,228	7,049,530	395,074	7,444,605	△11,554	7,433,050
セグメント利益又は 損失(△)	△16,957	48,326	68,457	34,638	134,464	7,129	141,593	40,786	182,380

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額40,786千円には、支払利息の調整額22,350千円、支払保証料の調整額1,792千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額14,250千円及び当社グループ間売上に係る調整額2,393千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。